



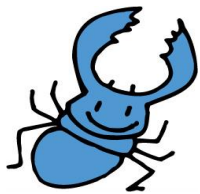
# 8月の園だより

令和6年8月1日  
目黒区立中町保育園園長

真夏の太陽が照り付ける中、園庭の田んぼの稲が青々と育ち、セミの鳴き声が聞こえると「何ゼミかな、どこにいるのかな」と探しています。今月の保育のねらいとして、水遊びやプール、感触遊びなど夏の遊びを十分に楽しんでいきます。テラスやプールサイドの水遊びでは、器に水を入れては何回も流したり、器から器へ入れ替えたり、ひしゃくですくいバケツやペットボトルがいっぱいになるまで入れたり、何回も根気よく繰り返しています。どれくらい入れたら満杯になるのか、いっぱいになって水面が膨れる様子や、あふれる瞬間をじっと見つめるまなざしは研究者のようです。ホースから出る水が水玉のように見えたり、霧状に見えたりする不思議さにも気づき「キラキラしている」「虹ができてよ」と発見を共有する姿もありました。幼児クラスになると3m×5mのプールに入ります。水と親しみながら友達の姿を見て“面白そう”“あんな泳ぎができるようになりたい”など目標をもってやってみる姿や、頑張っって顔をつけようとしている友達を励ます姿も見られます。また、宝拾いではいつも水に沈むものを拾っていましたが、水面に浮くスーパーボールを入れると、取ろうとしても逃げてなかなか取れずに苦戦していました。素材により浮くものと沈むものがあることを、遊びながら学んでいます。その他にも、片栗粉や氷、色水を使った遊びやボディペインティングなどを取り入れ、不思議さや面白さを感じ、好奇心や五感を刺激しながら発見や感じたことに共感していきたいと思います。

夏は親子で過ごす時間が増える方もいることでしょう。ゆったりとした気持ちでお子さんとの時間をぜひ楽しんでください。

## \* 行事予定 \*



水遊び終了 (0、1、2 歳児)  
プール遊び終了 (3、4、5 歳児)  
避難訓練  
身体計測  
引き渡し訓練 詳細は後日お知らせします。



## 健康教育

子どもたちが健康な毎日を過ごせるように、保健指導の一環として健康教育を行っています。手洗い・うがいなどは生活の中で習慣化するように働きかけたり、虫歯予防デー等に合わせ歯磨き指導をしたりしています。子どもの発達に合わせた教材の工夫をし、保育士と連携しながらクラスの課題も併せて子どもたちに伝えるようにしています。

健康教育の内容は、保護者の方にも掲示してお知らせをしていますので、ご家庭で参考にいただければと思います。(看護師)



## きゅうりの収穫 (4 歳児)

### 「チクチクするね」

グループ毎に水やりをして育てていたきゅうりを収穫すると、「大きいね」「チクチクするから気を付けて」「はじっこ持つといいよ」と子ども同士で伝えながらきゅうりを持っていました。給食の時に薄切りにしてもらい素材そのものの味で食べてみると、「おいしい」「甘いね」「チクチクしないね」と、たくさんの発見をして喜んでいました。

その後の収穫ではきゅうりを見ながら絵を描きました。



# 水遊び・プール遊びの様子

## もも組（0歳児）

「気持ちいいね」

水遊びを初めた頃は水を張ったタライを見て「なんだろう」と不思議そうな表情をしていましたが、保育士が手や足に少しずつ水をかけてみるとそれを見て自分からそっと手を伸ばし、水に触れ始めました。「気持ちいいね」「冷たいね」と声をかけるとにこにこして気持ち良さそうです。慣れてくると肘くらいまで水の中に入れていました。今では、バシャバシャと水しぶきを上げるほど水面をダイナミックに叩いてみたり、カップやひしゃくで水をすくったりこぼしたりと水の冷たさ、心地よさ、感触を楽しみながら夢中で遊んでいます。



## たんぽぽ組（1歳児）

「いっぱい入ったよ」

保育室横のテラスで水遊びをしています。用意した透明のカップにひしゃくなどを使って水を入れ、ジャージャーとあふれる様子を見ながら何度も入れています。隣では床に同じ種類のカップを幾つか並べてそこに水を入れたり、カップを両手に持ち、水の入り具合を見ながら移し替えをしたりして遊んでいます。また子どもが立って遊べる高さに穴を開けたペットボトルの容器を吊して水を入れると、穴から出てきた水を触っていました。出なくなるとペットボトルの中を覗いたり振ったりしながら、不思議そうにしています。保育士が水を入れると“出てきた”という表情で見たり触ったりしています。繰り返すことで水が出なくなると、今度は子どもたちが水を入れるようになり、上から入れると出てくることが分かったようです。



## ほし組（3歳児）

「プール楽しいね」

幼児クラスになって初めてのプール活動が始まり、子どもたちはドキドキしながら大きなプールの中に入っていました。最初は、そっと自分の体に水をかけたり、ゆっくり一周歩いたりと慎重に動いていましたが、今では少しずつ慣れてきたようです。「自分の好きな動物になってプールの中を歩いてみよう」と提案すると「ネコになる」「僕はカバ」など好きな動物になり、水の中を進んでいきます。「怪獣」や「恐竜」になる子は両腕を曲げ、大股歩きで水面をバシャバシャさせながら「ガオ～」と勇ましく進んでいます。また玩具拾いでは、下に沈んだ玩具を拾うためにしゃがんで手を伸ばしています。高這いで進む時や玩具拾いで顔に水が付きそうになりますが、夢中になっているので怖がることなく楽しんで遊んでいました。

